

学部等名	医療保健学部
------	--------

1. 教育目的・使命の明確化

学部等がどのような人材を育てたいのか、その方向性が明確かどうかを確認します。

1-1. 当該学部等の教育理念・目的が大学全体の方針と整合しているか記載してください。
医療保健学部では、国際的教養と豊かな人間性を備え、保健・医療・福祉分野で自立して活躍できる専門知識と技能、他職種と協働できるコミュニケーション力、倫理観、課題解決力を持つ人材を育成します。持続可能な社会の実現に貢献する意欲も重視しており、教育理念・目的が大学全体の方針と整合しています。

1-2. 社会的ニーズや地域との関係性を踏まえた教育の方向性を記載してください。
医療保健学部は、保健・医療・福祉分野の基礎知識と応用力を養い、地域社会の多様なニーズに応える専門職の育成を目指します。他職種と協働できるコミュニケーション力や倫理観を重視し、持続可能な社会の実現に貢献する人材を育成します。

1-3. 教育目標が学生や教職員に周知されているか記載してください。
医療保健学部の教育目標は、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとして明文化され、学部・学科ごとの学修到達目標や教育課程編成方針としてシラバスや公式資料に掲載されています。これにより、学生や教職員が目標を明確に理解し、主体的な学修・教育活動に取り組めるよう周知されています。

自己評価	
ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した イ. 前年どおりである又は特に問題はない ウ. 改善・修正が必要な点がある。	イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

2. 内部質保証体制の整備

3つのポリシーを起点とする教育の質を自ら点検・改善する仕組みがあるかを確認します。

2-1. 学部内における質保証の組織体制（委員会、責任者など）を記載してください。

医療保健学部では、3つのポリシーの質保証を目的に、学部内に教育課程委員会や各学科・専攻ごとの委員会を設置し、学部長や学科長が責任者となって運営しています。委員会は教員で構成され、ポリシーの策定・運用・評価を行い、学修成果や教育内容の改善に継続的に取り組んでいます。

2-2. 内部質保証のための自己点検・評価の実施状況とその結果の共有について記載してください。

医療保健学部では、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3つのポリシーに基づき、教育・研究の質保証のため定期的な自己点検・評価を実施しています。評価結果は教員間で共有され、教育課程や学修成果の改善に活用されています。

2-3. IR (Institutional Research) によるデータ収集・分析の活用を記載してください。

医療保健学部では、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3つのポリシーに基づく教育・研究の質保証のため、IR (Institutional Research) によるデータ収集・分析を積極的に活用しています。学生の学修成果や教育課程の評価結果を定量的に把握し、教育内容や方法の改善に反映することで、学部全体の質向上を図っています。

2-4. 学生・学外関係者の意見・要望をくみ上げる仕組みと分析結果を教育研究の向上に生かす努力について記載してください。

医療保健学部では、学生や学外関係者の意見・要望をアンケートや面談等で収集し、教育課程や学修成果の評価方法に反映しています。得られた分析結果は、カリキュラムの改善や教育内容の充実に活用し、教育研究の質向上に継続的に努めています。

自己評価

- ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した
- イ. 前年どおりである又は特に問題はない
- ウ. 改善・修正が必要な点がある。

イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

3. 教育課程の編成・実施

学生が体系的に学べるように教育課程が設計・運用されているかを確認します。

3-1. 3つのポリシーの策定状況と周知方法について記載してください。

医療保健学部では、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3つのポリシーを学部・学科ごとに策定し、体系的な教育課程を設計・運用しています。これらの方針は、学修到達目標や評価方法を明確化し、学生・教職員へ資料やシラバス等を通じて周知されています。

3-2. カリキュラム・ポリシー（CP）に沿った体系的な教育課程を編成し、実施しているか記載してください。

医療保健学部では、カリキュラム・ポリシーに基づき、基礎科目・専門基礎科目・専門科目を体系的に編成しています。講義・演習・実習・実験を組み合わせ、学生の主体的・能動的な学修を促進。学修成果は定期試験やレポート等で厳格に評価され、卒業研究では複数教員による総合的な能力評価も実施されており、教育課程の質保証が図られています。

3-3. ディプロマ・ポリシー（DP）を踏まえた単位認定基準、進級基準などの学修成果の評価方法を適切に定め、周知し、厳格に適用しているか記載してください。

医療保健学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、各科目のシラバスに評価方法を明記し、定期試験・レポート・発表等により学修成果を厳格に判定しています。単位認定・進級基準も明確に定め、学生へ周知し、適切かつ厳格に運用することで教育・研究の質保証に努めています。

3-4. 教授方法の工夫（アクティブラーニングなど）と効果的な実施について記載してください。

医療保健学部では、講義・演習・実習・実験を体系的に組み合わせ、学生の主体的・能動的な学修を促進しています。アクティブラーニングの導入により、実践的な知識や技能の習得を重視し、定期試験やレポート、発表など多様な評価方法で学修成果を厳格に判定しています。

3-5. 3つのポリシーを踏まえた学修成果の把握と評価方法について記載してください。

医療保健学部では、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3つのポリシーに基づき、講義・演習・実習・実験等を体系的に編成し、定期試験やレポート、小テスト、発表など各科目のシラバスに明記された方法で学修成果を厳格に評価します。卒業研究では複数教員による審査会を開催し、総合的な能力を多面的に把握・評価しています。

自己評価

- ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した
- イ. 前年どおりである又は特に問題はない
- ウ. 改善・修正が必要な点がある。

イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

4. 教員の体制と能力開発

教員が教育・研究の質を高めるための体制と取り組みがあるかを確認します。

4-1. 教員の採用・昇格基準の明確化について記載してください。

医療保健学部では、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3つのポリシーに基づき、教員採用・昇任の基準を学部内で明確化しています。具体的には、専門分野の知識・技能、教育・研究実績、協働力やコミュニケーション能力などを評価項目として、学部会議等で基準を策定・運用し、透明性と公平性を確保しています。

4-2. FD (Faculty Development) 活動の実施状況について記載してください。

医療保健学部では、教育・研究の質保証のため、教員がFD活動を積極的に実施しています。具体的には、講義・演習・実習・実験等の授業形態に応じた評価方法の明確化や、複数教員による卒業研究発表審査会の開催を通じて、学生の主体的・能動的な学修を促進し、教育内容の改善に努めています。

4-3. 教員の教育・研究活動の成果と評価について記載してください。

医療保健学部では、教員の教育・研究活動の成果と評価は、学部の「3つのポリシー」に基づき、厳格かつ多面的に行われています。教育面では、授業評価や実習指導、卒業研究の発表などを通じて、学生の主体的な学びや専門能力の育成状況を評価します。研究面では、論文発表数や学会活動、外部資金獲得、社会貢献など多様な指標を用い、教員の業績や社会的影響力を総合的に判断します。これらの評価は複数教員による審査や委員会を実施され、学部運営や人事制度にも反映されています。

自己評価

- ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した
- イ. 前年どおりである又は特に問題はない
- ウ. 改善・修正が必要な点がある。

イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

5. 独自基準（学部の特徴）

学部が持つ独自の強みや個性、特色を確認します。

5-1. 学部が個性・特色として重視している領域について記載してください。

医療保健学部は「自立した医療専門職の育成」と「地域社会への貢献」を理念に掲げ、専門知識・技術の修得、チーム医療での協働、ICT活用、医療安全、コミュニケーション能力を重視します。さらに人類愛と国際的視野に基づく奉仕精神を育み、質の高い医療職を養成します。

5-2. 他大学との違いを示す取り組みがあれば記載してください。

医療保健学部は、ICTリテラシーを教育に積極導入し、診療情報の標準化や医療安全の実践力を強化する点で他大学と一線を画します。さらに、コンピュータサイエンス学部との連携によるデータ活用教育、チーム医療における協働力、国際的視野と人類愛に基づく奉仕精神の涵養を重視し、質の高い医療専門職を育成します。

自己評価

- ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した
- イ. 前年どおりである又は特に問題はない
- ウ. 改善・修正が必要な点がある。

イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。